

日本学術振興会 先導的研究開発委員会
「食による生体恒常性維持の指標となる未病マーカーの探索戦略」
公開シンポジウム

開催日時：2018年7月20日（金）13時～17時40分（開場：12時15分）

会場：東京大学農学部 弥生講堂一条ホール <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/>
113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内 電話 03-5841-8205
懇親会（18時より）：レストラン アブルボア（参加費4000円）

主催：先導的研究開発委員会「食による生体恒常性維持の指標となる未病マーカーの探索戦略」

協賛：（公社）日本農芸化学会、（公社）日本生物工学会、（公社）日本栄養・食糧学会、
（公社）日本食品科学工学会、（一財）バイオインダストリー協会（予定）

定員：300名（事前登録制、入場無料）

本委員会では、ヒトの持つ生体恒常性に着目し、生体恒常性維持の指標となる未病マーカーについて、食のイノベーションをもたらす、グローバルな新たな研究分野として議論してまいりました。本日のシンポジウムでは、「未病マーカー」の重要性をお伝えできればと思います。

【挨拶】

13:00-13:10 未病マーカーによる食のイノベーション
阿部啓子氏 委員長、東京大学名誉教授・特任教授、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC)・食品機能性評価グループリーダー

【基調講演 ①】

13:10-13:40 国連・持続可能社会目標(SDGs)と食・健康のイノベーション
有本建男氏 政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策プログラム 教授
科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー

13:40-14:10 健康・医療情報を活用した予防政策の実現 ～クオリティーデータの重要性～ (仮)
江崎禎英氏 経済産業省 商務・サービス政策統括調整官

【マーカー研究の新展開】

14:10-14:35 認知症予防と未病マーカー
小林彰子氏 東京大学大学院 農学生命科学研究科 食の安全・安心・健康領域 准教授

14:35-15:00 時間軸から考える未病マーカー
大池秀明氏 農研機構 食品研究部門 食品健康機能領域 主任研究員

15:00-15:25 疾病と腸内細菌叢の関係から見る未病マーカー探索戦略
井上亮氏 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 動物機能学研究室 講師

休憩(15分)

【基調講演 ②】

15:40-16:10 食の嗜好性と脳機能から考察する生活習慣病 未病マーカーの可能性
益崎裕章氏 琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病 内科学講座 教授

【測定装置の新展開】

16:10-16:40 質量分析による生理活性分子の組織内イメージング
杉浦悠毅氏 慶應義塾大学 医学部 医化学教室 講師

16:40-17:05 光センシングによるホメオスタシス多視点評価オンサイトシステム
敷村公子氏 浜松ホトニクス(株) 中央研究所

17:05-17:30

脳・心血管疾患の発症ゼロへのチャレンジと生体計測技術の進化

山下新吾 氏

オムロンヘルスケア(株) 技術開発統轄部 要素技術開発部開発 グループリーダー

【挨拶】

17:30-17:40

山野井昭雄 氏

味の素社友

【懇親会】

18:00-19:30

レストラン アブルボア

参加費:4,000 円 当日お支払いください

主 催： 先導的研究開発委員会「食による生体恒常性維持の指標となる未病マーカーの探索戦略」

協 賛： (公社) 日本農芸化学会、(公社) 日本生物工学会、(公社) 日本栄養・食糧学会、
(公社) 日本食品科学工学会、(一財) バイオインダストリー協会 (予定)

対 象： 一般(企業の皆様、マスメディア、その他研究者)

以下URLのホームページへアクセスの上、ご登録ください。

https://www.jba.or.jp/jba/seminar/se_02/post_85.php

ご来場の際には、登録後に自動配信される登録確認メールを印刷したものをお持ちください。なお、定員になり次第、登録を締め切らせていただきます。懇親会に参加される方は、参加費を受付にて現金でお支払いください。

お問合せ： (一財) バイオインダストリー協会 内 先導的研究開発委員会

「食による生体恒常性維持の指標となる未病マーカーの探索戦略」事務局 秋元健吾 TEL 03-5541-2731

以上